令和３年度

四国防災共同教育センター

運営・評価委員会

議事要旨

**日付**: 2022年2月21日(月)

**時刻**: 14:00 ～ 15:00

**場所**: Zoomによる遠隔会議

**進行**: 吉田 秀典 (四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構長)

# 出席者

香川大学：四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構　吉田機構長
四国防災共同教育センター　長谷川センター長

　　　　　四国防災共同教育センター　黒田副センター長

香川県：政策部　石川地域活力推進課長

徳島県：危機管理環境部　坂東副部長

徳島大学：理事(研究担当) 　佐々木副学長（代理　蒋教授）

# 陪席者

香川大学：危機管理先端教育研究センター　野本特命教授、萩池特命教授、

藤目客員教授、近藤事務補佐員、豊島技術補佐員、

# 内容要旨

**開会挨拶**：**吉田機構長**

　　　日頃から、四国防災共同教育センターの運営にご協力いただき感謝。「「四国防災・危機管理プログラム」における四国防災共同教育センターに関する要項」の第4条に本センターが行う業務が６つ掲げられている。本会議ではその中から主に「プログラムの終了判定に基づいた資格の授与に関すること」が重要な項目として、先生方に判断していただきたいと考えているのでよろしくお願いしたい。

　**議題**

１．令和３年度四国防災・危機管理プログラム事業報告

２．四国防災・危機管理プログラム 第８期生修了判定及び資格授与

３．令和４年度四国防災・危機管理プログラム運営計画

# 議題１ 令和３年度 四国防災・危機管理プログラム 事業報告

事務局より、議題1の「令和３年度　運営スケジュール」、「授業報告」　「受講生アンケート」について、説明を行った。

前期の講義は、4月12日から8月3日の間で、「リスクコミュニケーション」「危機管理学」「事業継続計画」の講義を各16回zoomによる遠隔講義で実施した。また、後期の講義は10月5日から2月3日の間で、「メンタルヘルスケア」、「リスクマネジメント」の講義を各16回Zoomによる遠隔講義＋対面講義（PFA研修）で実施した。さらに、11月6日と7日には香川大学と徳島大学で防災・危機管理実習を対面で実施した。また、2年次の受講生は班又は個人で防災危機管理実務演習として各課題を研究し、各大学で発表会を実施した。また、3月16日には、第８期生の修了記念のシンポジウムを実施予定。受講生のアンケートから、全講義で昨年度を上回る好評価を得ているももの、講義時間についての評価は他項目と比較すると低くなっている。これは講義開始が１８時３０分からと遅いことが原因と考えている。

また、遠隔講義のアンケートでも前期よりも講義の好評価となるなど講師及び受講生がZoom講義に馴れてきたことや各講師がチャットやスライド、ブレイクアウトルームなどの機能を使って受講生や受講生間の意見共有などがうまく出来るようになってきたためと推測される。また、対面で実施した防災・危機管理実習は１年次に取って初めての対面講義となり非常に評価が高かった。

このようなアンケート結果から、第１回の企画委員会で来年度から講義の開始時間を１８時３０分から１８時とすることを提案し了解を得たところである。さらに、各講義で更にリアクション、チャット、投票などのZoom機能をしっかりしようしていただき、双方向のコミュニケーションを図るよう提案、またグループワークをより有効なものとする種々の提案、講義資料の見やすさのための提案、各大学講師間の更なる調整を行うことなどを提案し了解を得たところである。また、第２回企画委員会では各講義のタイムマネジメントの徹底や防災危機管理実習での安全対策の徹底等を提案し了解を得たところである。

**〇吉田機構長**：今回の提案で最も大きなものは講義時間の変更であるが、対面講義を行っていた頃は５時限目の講義が終わった後、講義の準備を行うための時間が必要で１８時３０分としていたと記憶している。全て遠隔講義で行う際には準備の時間が必要ないので１８時００分開始は妥当なのかなと思うが、社会人の受講生に意見を聞くなど丁寧に決めた方が良かったのではないか。まずは、来年度１８時００分開始で実施し、問題点があれば改善していくという事で良いのではないか。

また、第１回企画委員会の議論の通り、来年度からはほとんどオンライン講義となるのであれば、香川、徳島の受講生にこだわることなく、オンラインを軸にして他の地方圏から受講生獲得を目指して欲しい。

# 議題2 令和３年度 四国防災・危機管理プログラム修了判定　　　　　　及び資格授与

事務局より、プログラム修了要件ならびに修了予定者、修了証書(案)、災害・危機対応マネージャー資格認定証について説明を行った。

別紙として、修了予定者１７名の成績一覧を閲覧した。運営評価委員が同成績を確認し、１７名の修了が運営評価委員会で承認された。

**〇吉田機構長：**これまでは成績一覧について紙ベースで閲覧していたがこのような遠隔での会議となると画面上の閲覧は確認しづらさがあるので次回から閲覧方法について検討してはどうか。

**〇事務局(野本)：**承知しました。

**〇吉田機構長：**修了証書、災害・危機管理対応マネージャー認定証はこの案でよしとします。

# 議題3 令和４年度 四国防災・危機管理プログラム 運営計画

　事務局より、令和４年度四国防災・危機管理プログラムの運営スケジュール及び授業カリキュラムが提示された。またプログラムの広報活動、応募要領、応募見込みについて報告があった。

　前期講義は、4月1１日よりスタートし、各科目例年通りの16回実施予定、前期後期修了後、９月中旬に第１回企画委員会を開催。

後期講義は１１月４日よりスタートし、各科目例年通りの16回実施予定、後期講義終了後、２月中旬に第２回企画委員会を開催し、２月下旬に運営・評価委員会を開催。

防災・危機管理実習は、11月５日６日で香川大学と徳島大学にて実施予定。ＰＦＡについても１２月中旬に香川大学で実施予定。

　広報活動は、ホームページにより募集の情報発信を行い、修了式でもある人材養成シンポジウムを3月1６日にYouTubeによるオンライン配信で行う予定。また、プログラムパンフレット、履修の手引をつながりのある所へ香川県内、徳島県内所に配布した。

　運営・評価委員会開催時点（２月２１日）で、来年度プログラムへの社会人応募状況は、香川大学７名、徳島大学４名となっている（人事の都合上受講申請が３月下旬となる行政機関の応募見込みを含む）。4月の大学院生向けにガイダンス等によりPRし、大学院生の受講生を募集する。

**〇吉田機構長：**現段階でこの運営スケジュールで認めていただけるということで良いですか？

**〇質問・意見なし**運営スケジュールが認められた。

**〇吉田機構長：**全体を通じて何かご意見はございませんか？

**〇質問・意見なし**

**〇終わりに**

**〇長谷川センター長：**本日いただいた意見や修正内容については、事務局で責任を持って修正して進めていきます。来年度も引き続きご指導ご鞭撻をお願い致します。これで令和３年度四国防災共同教育センター運営・評価委員会を終了致します。

以上